

日本スポーツマスターズ 2022 サッカー競技 関東予選会要項

1. 名 称 日本スポーツマスターズ 2022 サッカー競技 関東予選会
2. 主 催 一般社団法人 関東サッカー協会、関東社会人サッカー連盟
3. 主 管 千葉県社会人サッカー連盟
4. 開催期日 2022年2月19日(土)、20日(日)
5. 会 場
6. 参加資格、年齢基準及び所属都県
日本在住者で、1987年(昭和62年)4月1日以前生まれの当該年度(公財)日本サッカー協会に加盟・登録された選手によって構成されたチームであり、選手は以下の資格を満たす者。
 - (1) 所属都県は、下記のいずれかを選択することができる。
 - ① 移住地を示す現住所が位置する都県
 - ② 勤務地が位置する都県
 - ③ (公財)日本サッカー協会に登録したチームの所属都県
 - (2) 第77回国民体育大会サッカー競技会(都道府県大会、ブロック大会を除く)に選手として参加する者は、日本スポーツマスターズ 2022 サッカー競技会に選手として出場することはできない。
 - (3) 都道府県大会に参加した選手は、他の県から参加することはできない。
 - (4) 監督は、(公財)日本サッカー協会公認コーチ(C、B、A、S級)の資格を有する者とする。
 - (5) (公財)日本サッカー協会発行の選手証(写真を貼付したもの)を持参すること。ただし電子登録証(写真が登録されたもの)が確認出来る場合は出場を認めるものとする。選抜チームの場合は選手所属チームから選手の写しを借用すること。※選手証とは、(公財)日本サッカー協会WEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したものを示す。不測の事態の場合は、電子機器での確認も可とする。
 - (6) 選手資格に疑義のある場合は、あらかじめ所属都県社会人サッカー連盟の意見を求める。なお、疑いのある場合には関東社会人サッカー連盟理事会がこれを裁定する。
7. 代表資格
代表チーム数は2もしくは3チームとし、代表となったチームは日本スポーツマスターズ 2022 サッカー競技会(開催地:岩手県遠野市)に参加する義務を負う。
※第1~3代表はチーム代表者もしくはチーム所属の都県役員による抽選で決定する。

8. 参加チーム数

8チーム（各都県1チームずつ）

原則として2022年2月6日（日）までに参加チームを決定する。

9. 競技方法

- (1) 8チームを2つのブロックに分けてトーナメント方式で代表チームを決定する。
- (2) 試合時間 60分（前・後半30分）
- (3) ハーフタイムのインターバル：10分（前半終了から後半開始まで）
- (4) 試合の勝者を決定する方法（上記時間内で勝敗が決定しない場合）
PK方式により勝敗を決定する。

10. 競技規則

大会実施年度の（公財）日本サッカー協会競技規則による。

但し、以下の項目については本大会規定とする。

- (1) 大会出場可能人数：本大会に参加申し込みをした最大20名とする。
- (2) 交代要員の数：9名以内
- (3) 交代を行うことができる数：無制限（再交代を適用する）
（一度退いた競技者も再び後退出場できる。）
- (4) ベンチ入り人数：15名以内（交代要員9名以内、役員6名以内）
- (5) チームベンチ：ピッチ上本部からフィールドに向かって
左側・・・対戦表の左に記載されているチーム
右側・・・対戦表の右に記載されているチーム
- (6) アディショナルタイムの表示：実施する。
- (7) テクニカルエリア：設置する。（その都度ただ1人の役員のみがテクニカルエリアから戦術的指示を伝えることができる。）
- (8) 競技者の用具（ユニフォーム）
ユニフォームは（公財）日本サッカー協会ユニフォーム規定に準ずる。
 - ① ユニフォームは、GK及びフィールドプレーヤーともに異色の2着（計4着）を準備すること。（上衣・パンツ・ソックス同士は全てが異色とすること）
 - ② 試合会場には、登録したユニフォームを全部持参する。大会中の背番号は登録した番号とし、変更できない。
 - ③ ユニフォーム・シャツの色彩は、審判員が着用する黒又は同系色（紺など）を用いることはできない。尚、ショーツ・ストッキングについては、この限りではない。
 - ④ 選手番号については、整数の1から99を使用し、0は認めない。（公財）日本サッカー協会への登録選手数が100名以上の場合に限り、100以上の番号を認める。
 - ⑤ ユニフォームの色、選手番号の参加申込み以後の変更は認めない。

- ⑥ ショーツの選手番号については付けることが望ましい。
 - ⑦ ユニフォームに他のチーム(各国代表、プロクラブチーム等)のエンブレム等が付いているものは着用できない。
- (9) 第4の審判員：任命する。
- (10) 負傷した競技者の対応：主審が認めた場合のみ、最大2名ピッチへの入場が許可される。
- (11) 懲罰について
- ① 本大会で退場を命じられた選手は、次の試合に出場できない。それ以降の処置については本大会の規律・フェアプレー委員会で決定する。
 - ② 本大会期間中、警告を2回受けた者は、次の1試合に出場できない。
- (12) 競技者の用具については、競技規則第4条を厳守する事。
- ① ソックスに巻くテープはストッキングと同系色であること。
 - ② アンダーシャツはシャツの各袖の主たる色と同系色で1色とする。又は、シャツの各袖と全く同じ色の柄とする。
 - ③ アンダーショーツ及びタイツはショーツの主たる色、又はショーツの裾の部分と同系色でなければならない。同一チームの競技者は同色のものを着用しなければならない。

11. 参加申込

- (1) 選手の参加申込み人員は、各チーム選手20名を最大とし、監督が選手として出場する場合はこれに含まれていなければならない。役員は6名を最大とする。
- (2) 参加チームは、配布した所定の様式により「大会参加申込書」を作成し、書類一式を関東社会人サッカー連盟宛に、2022年2月8日(火)までにEメールにてデータ(エクセル形式)を送信すること。

〔送付先〕 関東社会人サッカー連盟事務局

12. 試合組合せ

関東社会人サッカー連盟が決定する。

13. 参加費

大会参加費30,000円は参加申込と同時に2022年2月8日(火)までに指定口座に振込むこと。

14. 保険、傷害

- ① 参加選手は、スポーツ傷害保険に加入していること。
- ② 傷害等の処理は、自チームの責任において処理すること。

15. その他

- ①試合開始70分前にMCMを実施するので、チームの責任を負える代表者1名がユニフォーム(正・副)と試合メンバー表1部を持参して出席すること。但し1回戦のみ選手証を併せて提出すること。2回戦以降は選手証の必要はないが、試合中に疑義が生じた場合は選手証提出を求めるので必ず携行すること。
- ②本大会開催に先立ち、公式試合での懲罰処分が未消化の選手・役員がいる場合は、各都県社会人サッカー連盟は、懲罰処分報告書及び懲罰処分の「通告書」写しの提出を御願います。

※ ホームページ掲載にあたり項目を一部省略しております。